

羽曳が丘

E
Ecology

&

L
Life発行 NPO法人羽曳が丘E&L
〒583-0865
羽曳野市羽曳が丘西3-4-51
羽曳が丘第2集会所
Tel Fax 072-958-6716

NEWS LETTER

2006年6月

(広報紙みどり～通巻第16号)

第2回 定時総会開催

今年度はビオトープゾーンの整備と世代間交流を!

去る、5月14日MOMOプラザにて、羽曳が丘E&Lの第2回定時総会を開催しました。当日は86名が出席し、総会は岡橋理事長が病気療養中のため、齋信副理事長（理事長代行）の挨拶から始まり、17年度の事業報告と決算報告が承認され、18年度の事業計画と収支予算を報告しました。平成17年度は¥6,174,000の事業予算でスタートしましたが、大阪府の高齢者コミュニティワーカーズ先導モデル支援事業・集会所の業務管理事業・広報紙印刷事業などが増収となり、事業収入は¥7,435,333となりました。また、ビオトープクラブではメンバーが76人集まり、ビオトープゾーンの整備が大きく前進し、池ではメダカやヤゴが増殖しています。森と広場の樹木の枝葉が日々大きくなっています。ビオトープゾーンには大人から子どもまで幅広い年代の人たちが集まって世代間交流が始まっています。今年度は引き続きビオトープゾーンを整備して世代間交流がすすむのを期待します。

平成17年度総括報告

各部の事業は着実前進

「環境部」では自然環境保全活動とアルミ缶回収事業を実施しました。「生活部」では高齢者の見守りを視点とする惣菜の宅配事業と高齢者交流サロン事業を行い参加者の方々に喜んで戴きました。「管理部」では集会所の受付業務・標準葬儀のほか広報紙などの印刷事業を実施しました。各部の事業は着実に実践され、好評だったと思います。

さらに、17年度はビオトープゾーンが、羽曳野市教育委員会－羽曳が丘町会連合会－羽曳が丘E&Lのルートで管理運営が委託されました。本年2月よりビオトープクラブが発足し、現在76名のメンバーが集まりました。この事業は地域の自然環境保全と、子どもから高齢者まで幅広い年代の人たちが集う世代間交流の場を提供することが目的です。同時に自然環境保全活動・福祉活動・子育て支援活動が連動すれば、環境と生活が調和する場が実現します。

このビオトープゾーンは、羽曳が丘幼稚園・はびきのプレーパーク・峰塚中学校・羽曳が丘青少年健全育成連絡協議会など、子どもから大人までが交流する定期的な野外活動の場所として活用されつつあります。



総会後の交流会

平成18年度事業計画

事業収益は地域貢献事業へ

昨年度は、ビオトープ事業が大阪府のモデル事業に選定され、今年度も引き続きビオトープゾーンの整備と世代間交流をすすめていきます。昨年度の各部の事業は前述の報告の通り着実に実施され、羽曳が丘E&Lの事業の基礎をつくりました。

本年度の事業方針は、「事業を進めるための財源は、事業から得られる収入でまかなう」ことをめざします。各種の事業収入のほか、野外イベント・交流会・セミナーなどの市民参加を高めて参加費が増加することも重要です。事業収入や参加費収入を得ることで、担い手が労働の対価を得ることができます。

また、E&Lの事業収益を地域へ投資すれば市民サービスが向上して、利用者の確保につながる好循環を生み出します。現在E&Lでは事業収益を惣菜の宅配やビオトープの整備などに投資しています。この投資を目に見える地域貢献事業として育てていく方針です。つまり、地域の資源である人・モノ・カネ・情報が循環を生んで、E&Lの継続的で自立的な事業基盤を育てていきます。

一方、ビオトープクラブの定着・地域全体を視野にした月刊広報紙の発行・新しいホームページの制作などの事業を前進・充実させるための人材集めやプロジェクトチームの結成が今年度の課題でもあります。

(事業計画と決算予算は4-6P参照)